

ユダの手紙

イエス・キリストの僕またヤコブの兄弟であるユダから、父なる神に愛され、イエス・キリストに守られてゐる召された人々へ。

二あわれみと平安と愛とが、あなたがたに豊かに加わるよう。

三愛する者たちよ。わたしたちが共にあずかつてゐる救について、あなたがたに書きおくりたいと心から願つてゐたので、聖徒たちによつて、ひとつ伝えられた信仰のために戦うことを勧めるように、手紙をおくる必要を感じるに至つた。四そのわけは、不信仰な人々がしのび込んできて、わたしたちの神の恵みを放縱な生活に変え、唯一の君であり、わたしたちの主であるイエス・キリストを否定してゐるからである。彼らは、このようないつあるが、主が民をエジプトの地から救い出して後、不信仰な者を滅ぼされたことを、思い起してもらいたい。六主は、自分たちの地位を守ろうとはせず、そのおるべき所を捨て去つた御使たちを、大いなる日のさばきのため、永久にしばりつけたまま、暗やみの中に閉じ込めて

おかれた。七ソドム、ゴモラも、まわりの町々も、同様であつて、同じように淫行にふけり、不自然な肉欲に走つたので、永遠の火の刑罰を受け、人々の見せしめにされている。八しかし、これと同じように、これらの人人は、夢に迷わされて肉を汚し、權威ある者たちを軽んじ、榮光ある者たちをそしつてゐる。九御使のかしらミカエルは、モーセの死体について悪魔と論じ争つた時、相手をののしりさばくことはあえてせず、ただ、「主がおまえを戒めて下さるよう」と言つただけであつた。

一〇しかし、この人々は自分が知りもしないことをそしり、また、分別のない動物のように、ただ本能的な知識にあやまられて、自らの滅亡を招いてゐる。二彼らはわざわいである。彼らはカインの道を行き、利のためにパラムの惑わしに迷い入り、コラのような反逆をして減んでしまうのである。三彼らは、あなたがたの愛餐に加わるが、それを汚し、無遠慮に宴会に同席して、自分の腹を肥やしている。彼らは、いわば、風に吹きまわされる水なき雲、実らない枯れ果てて、抜き捨てられた秋の木、三分の恥をあわにして出す海の荒波、さまよう星である。彼らには、まづくらなやみが永久に用意されてゐる。四アダムから七代目にあたるエノクも彼らについて預言して言つた、「見よ、主は無数の聖徒たちを率いてこれらた。五それは、すべての者にさばきを行うためであり、また、不信心な者が、信仰を無視して犯したすべての不

信心なしわざと、さらに、不信心な罪人が主にそむいて語つたすべての暴言とを責めるためである。一彼らは不平をなれば、不満を鳴らす者であり、自分の欲のままに生活し、その口は大言を吐き、利のために人にへつらう者である。

二愛する者たちよ。わたしたちの主イエス・キリストの使徒たちが予告した言葉を思い出しなさい。一彼らがあなたがたにこう言った、「終りの時に、あざける者たちがあらわれて、自分の不信心な欲のままに生活するであろう」。二彼らは分派をつくる者、肉に属する者、御靈を持たない者たちである。三しかし、愛する者たちよ。あなたがたは、最も神聖な信仰の上に自らを築き上げ、聖靈によつて祈り、三神の愛の中に自らを保ち、永遠の開拓する者よ、うちで間違ひ、その中で書かれてゐる所を見えよ。三つの語言の言葉を

いのちを目あてとして、わたしたちの主イエス・キリストのあわれみを待ち望みなさい。三疑いをいだく人々があれば、彼らがあわれみ、三火の中から引き出して救つてやりなさい。また、そのほかの人たちを、おそれの心をもつてあわれみなさい。しかし、肉に汚れた者に対しても、その下着さえも忌みきらいなさい。

四あなたがたを守つてつまずかない者とし、また、その榮光のまえに傷なき者として、喜びのうちに立たせて下さるかた、五すなわち、わたしたちの救主なる唯一の神に、榮光、大能、力、権威が、わたしたちの主イエス・キリストによつて、世々の初めにも、今も、また、世々限りなく、あるように、アアメン。

六これが吾の六つ目、第七目、八つ目、九つ目、十つ目の教訓である。二つの事実である。二つ目は、主の日が瞬間に現れるのであるが、せよ、主の日が瞬間に現れる。三つ目は、イエスのあやつちのゆえに、ハイエスの心も想ひ出され、

八つ目は、主の言葉である。「汝がこの國で人々をもどすべや」と、昔の主は、汝がアモヤの人民、全福音を宣へらる。汝が國土の福音を宣へ、汝の福音を宣へらる。